

総務委員会 報告資料

令和 7 年 4 月 1 4 日

報告事項件名	頁
1 足立区の子育て世帯に関するアンケート調査結果について	2
2 自治体情報システム標準化・共通化の遅延について	1 2
3 広報紙モニターによるアンケート結果（令和 6 年度下半期分）について	1 4
4 千住宿開宿 4 0 0 年に伴う実施予定事業について	1 8
5 令和 6 年度区外からの足立区に対するイメージ調査の結果について	2 4
6 金額入り工事設計書の公表について	2 8
7 あやセンター ぐるぐるの運営状況等について	2 9

（ 政策経営部 ）

総務委員会報告資料

令和7年4月14日

件名	足立区の子育て世帯に関するアンケート調査結果について																																																																																																																							
所管部課名	政策経営部 政策経営課																																																																																																																							
内容	令和6年12月に実施した子育て世帯を対象としたアンケート調査について、分析結果を以下のとおり報告する。詳細は別添「令和6年度 足立区の子育て世帯に関するアンケート調査 報告書」を参照のこと。 1 調査から見てきたポイント（図表は端数処理で合計100%にならない場合あり） (1) 多子世帯について 家計や、子どもの習い事・体験機会の状況は、<u>世帯年収の高低だけでなく、子どもの人数（多子）にも影響を受けている</u>と推察される。 ア 家計の状況 <u>多子世帯は、一定程度の年収がある場合でも、家計の状況を「苦しい」と感じる割合が高い傾向にある。</u> (ア) 年収「～399 万円以下」の世帯では、子どもの人数にかかわらず、7割以上が家計の状況を「苦しい」と感じている。 (イ) 年収「800～1,199 万円」「1,200 万円以上」で、「子ども3人以上」の世帯では、家計の状況を「苦しい」と感じている割合がそれぞれ40.8%、20.6%だった。 図表1 家計の状況【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】（報告書P11） □ 苦しい □ 普通 □ ゆとりがある □ わからない □ 答えたくない □ 無回答 <table><tr><th></th><th>n=</th><th colspan="5">(%)</th></tr><tr><td>TOTAL</td><td>1918</td><td>43.1</td><td>38.9</td><td>15.6</td><td>1.2</td><td>0.6</td></tr><tr><td>～399万円以下/子ども1人</td><td>159</td><td>74.2</td><td>22.6</td><td>0.6</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>～399万円以下/子ども2人</td><td>86</td><td>79.1</td><td>16.3</td><td>3.5</td><td>1.2</td><td>0.0</td></tr><tr><td>～399万円以下/子ども3人以上</td><td>30</td><td>73.3</td><td>23.3</td><td>3.3</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>400～599万円/子ども1人</td><td>173</td><td>64.7</td><td>29.5</td><td>5.2</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>400～599万円/子ども2人</td><td>136</td><td>58.1</td><td>36.0</td><td>2.9</td><td>1.5</td><td>0.0</td></tr><tr><td>400～599万円/子ども3人以上</td><td>37</td><td>70.3</td><td>27.0</td><td>2.7</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>600～799万円/子ども1人</td><td>166</td><td>44.0</td><td>40.4</td><td>14.5</td><td>0.6</td><td>0.0</td></tr><tr><td>600～799万円/子ども2人</td><td>157</td><td>47.8</td><td>44.6</td><td>7.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>600～799万円/子ども3人以上</td><td>55</td><td>47.3</td><td>43.6</td><td>5.5</td><td>3.6</td><td>0.0</td></tr><tr><td>800～1,199万円/子ども1人</td><td>208</td><td>26.0</td><td>48.1</td><td>24.0</td><td>1.9</td><td>0.0</td></tr><tr><td>800～1,199万円/子ども2人</td><td>211</td><td>24.6</td><td>53.1</td><td>19.9</td><td>1.9</td><td>0.5</td></tr><tr><td>800～1,199万円/子ども3人以上</td><td>71</td><td>40.8</td><td>43.7</td><td>14.1</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>1,200万円以上/子ども1人</td><td>97</td><td>6.2</td><td>35.1</td><td>56.7</td><td>1.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>1,200万円以上/子ども2人</td><td>123</td><td>8.1</td><td>48.8</td><td>42.3</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>1,200万円以上/子ども3人以上</td><td>34</td><td>20.6</td><td>23.5</td><td>52.9</td><td>0.0</td><td>2.9</td></tr></table> ※ TOTAL は「収入はない」「答えたくない」「無回答」の数を含む。		n=	(%)					TOTAL	1918	43.1	38.9	15.6	1.2	0.6	～399万円以下/子ども1人	159	74.2	22.6	0.6	0.0	0.0	～399万円以下/子ども2人	86	79.1	16.3	3.5	1.2	0.0	～399万円以下/子ども3人以上	30	73.3	23.3	3.3	0.0	0.0	400～599万円/子ども1人	173	64.7	29.5	5.2	0.0	0.0	400～599万円/子ども2人	136	58.1	36.0	2.9	1.5	0.0	400～599万円/子ども3人以上	37	70.3	27.0	2.7	0.0	0.0	600～799万円/子ども1人	166	44.0	40.4	14.5	0.6	0.0	600～799万円/子ども2人	157	47.8	44.6	7.0	0.0	0.0	600～799万円/子ども3人以上	55	47.3	43.6	5.5	3.6	0.0	800～1,199万円/子ども1人	208	26.0	48.1	24.0	1.9	0.0	800～1,199万円/子ども2人	211	24.6	53.1	19.9	1.9	0.5	800～1,199万円/子ども3人以上	71	40.8	43.7	14.1	0.0	0.0	1,200万円以上/子ども1人	97	6.2	35.1	56.7	1.0	0.0	1,200万円以上/子ども2人	123	8.1	48.8	42.3	0.0	0.0	1,200万円以上/子ども3人以上	34	20.6	23.5	52.9	0.0	2.9
	n=	(%)																																																																																																																						
TOTAL	1918	43.1	38.9	15.6	1.2	0.6																																																																																																																		
～399万円以下/子ども1人	159	74.2	22.6	0.6	0.0	0.0																																																																																																																		
～399万円以下/子ども2人	86	79.1	16.3	3.5	1.2	0.0																																																																																																																		
～399万円以下/子ども3人以上	30	73.3	23.3	3.3	0.0	0.0																																																																																																																		
400～599万円/子ども1人	173	64.7	29.5	5.2	0.0	0.0																																																																																																																		
400～599万円/子ども2人	136	58.1	36.0	2.9	1.5	0.0																																																																																																																		
400～599万円/子ども3人以上	37	70.3	27.0	2.7	0.0	0.0																																																																																																																		
600～799万円/子ども1人	166	44.0	40.4	14.5	0.6	0.0																																																																																																																		
600～799万円/子ども2人	157	47.8	44.6	7.0	0.0	0.0																																																																																																																		
600～799万円/子ども3人以上	55	47.3	43.6	5.5	3.6	0.0																																																																																																																		
800～1,199万円/子ども1人	208	26.0	48.1	24.0	1.9	0.0																																																																																																																		
800～1,199万円/子ども2人	211	24.6	53.1	19.9	1.9	0.5																																																																																																																		
800～1,199万円/子ども3人以上	71	40.8	43.7	14.1	0.0	0.0																																																																																																																		
1,200万円以上/子ども1人	97	6.2	35.1	56.7	1.0	0.0																																																																																																																		
1,200万円以上/子ども2人	123	8.1	48.8	42.3	0.0	0.0																																																																																																																		
1,200万円以上/子ども3人以上	34	20.6	23.5	52.9	0.0	2.9																																																																																																																		

イ 子どもの習い事や体験機会の状況

「習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由」として、「金銭的余裕がない」との回答が最も多いが、子どもの人数が多いほど「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」割合も高くなる。

(ア) 単純集計（上位3位）

図表2 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【単純集計】（報告書 P53）

	習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由
1位	<u>子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない</u> (60.3%)
2位	<u>保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない</u> (44.7%)
3位	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない (27.8%)

(イ) 世帯年収/子どもの人数別

- ① 「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」は、年収「400～599万円」以下の世帯では7～9割が理由に挙げており、特に「400～599万円/子ども3人以上」の世帯では91.4%と高い。
- ② 「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」は、同じ年収帯の中でも、「子ども1人」の世帯より「子ども2人」の世帯で、また、年収「400～599万円」「800～1,199万円」「1,200万円以上」では、「子ども2人」の世帯より「子ども3人以上」の世帯で高くなっている。
- ③ 「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」も、同じ年収帯の中でも子どもの人数が増えるほど理由に挙げる割合が高い。
- ④ 年収「～399万円以下」と「400～599万円/子ども3人以上」、「600～799万円/子ども3人以上」の世帯では、「子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない」よりも、「保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない」を理由に挙げる割合が高い。

図表3 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】（報告書 P56～58）

	n=	子どもの 習い事や 体験に費 やせる金 銭的余裕 がない	保護者とし て子どもに 習い事や 体験をさ せる時間 的余裕が ない	保護者とし て子どもに 習い事や 体験をさ せる精神 的・体力 的余裕が ない	子ども本 人が習い 事や体験 に費やせ る時間的 余裕がな い	子ども本 人が習い 事や体験 をしたがら ない	子どもに 習い事や 体験をさ せること について パートナ ーや家族 からの同 意・理解 が得られ ない
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6
～399万円以下/子ども1人	146	80.1	39.7	26.0	17.8	15.8	2.1
～399万円以下/子ども2人	79	87.3	49.4	26.6	22.8	24.1	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	27	81.5	63.0	37.0	7.4	18.5	3.7
400～599万円/子ども1人	163	73.0	41.1	19.0	23.9	14.1	0.6
400～599万円/子ども2人	131	74.8	44.3	24.4	26.0	20.6	1.5
400～599万円/子ども3人以上	35	91.4	45.7	25.7	8.6	31.4	2.9
600～799万円/子ども1人	153	51.0	36.6	22.9	31.4	16.3	0.7
600～799万円/子ども2人	151	76.8	53.0	27.8	29.8	17.9	3.3
600～799万円/子ども3人以上	51	76.5	62.7	27.5	9.8	19.6	2.0
800～1,199万円/子ども1人	198	39.9	38.4	22.7	25.3	18.7	0.5
800～1,199万円/子ども2人	204	53.9	50.0	26.5	29.4	21.1	2.5
800～1,199万円/子ども3人以上	66	75.8	54.5	28.8	30.3	21.2	1.5
1,200万円以上/子ども1人	89	18.0	36.0	16.9	27.0	15.7	1.1
1,200万円以上/子ども2人	118	33.1	51.7	24.6	53.4	24.6	1.7
1,200万円以上/子ども3人以上	32	40.6	65.6	21.9	53.1	25.0	0.0

（次ページに続く）

	n=	子どもに 習い事や 体験をさ せること に安全面 の不安が ある	近所に習 い事や体 験をさせ る場所が ない	子どもが 習い事や 体験をで きる年齢 にまだ達 していない	その他	理由は特 にない	無回答
TOTAL	1798	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
～399万円以下/子ども1人	146	8.2	27.4	11.6	2.7	3.4	4.1
～399万円以下/子ども2人	79	7.6	22.8	5.1	2.5	0.0	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	27	3.7	18.5	0.0	3.7	0.0	3.7
400～599万円/子ども1人	163	3.1	29.4	17.2	4.9	4.3	1.2
400～599万円/子ども2人	131	7.6	17.6	8.4	1.5	2.3	2.3
400～599万円/子ども3人以上	35	2.9	22.9	0.0	2.9	2.9	0.0
600～799万円/子ども1人	153	3.3	24.8	22.9	4.6	5.2	0.0
600～799万円/子ども2人	151	2.6	24.5	5.3	3.3	3.3	0.0
600～799万円/子ども3人以上	51	3.9	17.6	0.0	5.9	0.0	0.0
800～1,199万円/子ども1人	198	4.0	24.2	24.2	7.1	5.1	0.0
800～1,199万円/子ども2人	204	2.9	29.4	8.8	5.4	2.5	2.0
800～1,199万円/子ども3人以上	66	3.0	22.7	0.0	4.5	3.0	0.0
1,200万円以上/子ども1人	89	7.9	30.3	22.5	4.5	5.6	2.2
1,200万円以上/子ども2人	118	5.1	30.5	5.1	3.4	0.8	1.7
1,200万円以上/子ども3人以上	32	3.1	37.5	6.3	6.3	0.0	0.0

※ TOTAL は「収入はない」「答えたくない」「無回答」の数を含む。

(2) 教育費用の負担感について

「子どもの産みやすさ・子育てのしやすさ」や「理想の子どもの人数を持つこと」の阻害要因の一つとして、教育費用の負担感が大きいとの声が多い。

ア 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

(ア) 単純集計 (上位5位) において、「子ども」という視点では、「習い事代」「学習塾代」にお金をかけられていないとの回答が多い。

図表4 「お金がかかっている」費目と「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目【単純集計】(報告書 P15)

	お金がかかっている	本当はお金をかけたいが、かけられていない
1位	食費 (65.2%)	娯楽費 (46.7%)
2位	住宅費 (55.7%)	貯蓄・投資 (45.4%)
3位	教育費用 (28.5%)	被服・美容代 (26.7%)
4位	光熱水費 (28.1%)	<u>子どもの習い事代 (25.1%)</u>
5位	税金等 (25.6%)	<u>子どもの学習塾代 (17.7%)</u>

(イ) 世帯年収/子どもの人数別

特に「子ども3人以上」の世帯では、年収にかかわらず「習い事代」「学習塾代」にお金をかけられていないとの回答が多い。

図表5 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】（報告書 P19）

世帯年収 /子どもの人数	件数	1番多かったもの	2番目	3番目
TOTAL	1918	娯楽費 46.7%	貯蓄・投資 45.4%	被服・美容代 26.7%
～399 万円以下/ 子ども1人	159	娯楽費 42.8%	貯蓄・投資 40.3%	子どもの習い事代 32.1%
～399 万円以下/ 子ども2人	86	貯蓄・投資 41.9%	娯楽費 40.7%	子どもの習い事代 34.9%
～399 万円以下/ 子ども3人以上	30	子どもの学習塾代 46.7%	子どもの習い事代 43.3%	貯蓄・投資 36.7%
400～599 万円/ 子ども1人	173	貯蓄・投資 48.6%	娯楽費 47.4%	被服・美容代 28.3%
400～599 万円/ 子ども2人	136	娯楽費 52.2%	貯蓄・投資 47.1%	子どもの習い事代 28.7%
400～599 万円/ 子ども3人以上	37	娯楽費 59.5%	貯蓄・投資 48.6%	子どもの習い事代 37.8%
600～799 万円/ 子ども1人	166	貯蓄・投資 45.2%	娯楽費 44.6%	被服・美容代 28.9%
600～799 万円/ 子ども2人	157	娯楽費 55.4%	貯蓄・投資 41.4%	子どもの習い事代 36.9%
600～799 万円/ 子ども3人以上	55	娯楽費 50.9%	貯蓄・投資 40.0%	子どもの習い事代/ 被服・美容代 各 27.3%
800～1,199 万円/ 子ども1人	208	貯蓄・投資 54.8%	娯楽費 43.3%	被服・美容代 24.5%
800～1,199 万円/ 子ども2人	211	娯楽費 49.3%	貯蓄・投資 44.5%	被服・美容代 30.3%
800～1,199 万円/ 子ども3人以上	71	貯蓄・投資 52.1%	娯楽費 43.7%	子どもの学習塾代 32.4%
1,200 万円以上/ 子ども1人	97	貯蓄・投資 47.4%	娯楽費 41.2%	被服・美容代 24.7%
1,200 万円以上/ 子ども2人	123	貯蓄・投資 48.0%	娯楽費 44.7%	被服・美容代 22.0%
1,200 万円以上/ 子ども3人以上	34	娯楽費 58.8%	貯蓄・投資 52.9%	子どもの習い事代/ 被服・美容代 各 26.5%

※ TOTAL は「収入はない」「答えたくない」「無回答」の数を含む。

イ 教育費用で負担が大きい費目

(ア) 「習い事代」は、主に未就学～小学校の時期に負担が大きいと感じている割合が高い。

(イ) 「学習塾・家庭教師・通信教育代」は、主に未就学～高校の時期に負担が大きいと感じている割合が高い。

(ウ) 小学校では「体育用品（体操服・靴・帽子・水着など）」、中学校では「制服・靴代（上履き含む）」「修学旅行費」といった費用の負担も大きくなっている。

図表 6 教育費用の負担が大きい費目（報告書 P26）

通園・通学状況	件数	1 番多かったもの	2 番目	3 番目
通園していない （6 歳以下）	257	習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く） 15.2%	学習塾・家庭教師・通信教育代 9.3%	その他 8.2%
保育園・幼稚園・認定こども園	601	保育料・延長保育料 31.6%	習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く） 28.0%	学習塾・家庭教師・通信教育代 10.8%
小学校 1～3 年生	391	習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く） 57.0%	学習塾・家庭教師・通信教育代 29.4%	体育用品（体操服・靴・帽子・水着など） 19.2%
小学校 4～6 年生	411	習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く） 50.9%	学習塾・家庭教師・通信教育代 45.3%	体育用品（体操服・靴・帽子・水着など） 16.1%
中学校	434	学習塾・家庭教師・通信教育代 47.0%	制服・靴代（上履き含む） 37.1%	修学旅行費 26.3%
高校	444	授業料 37.4%	通学費（定期代・駐輪代など） 34.5%	学習塾・家庭教師・通信教育代 27.5%
専門学校・短期大学	64	授業料 92.2%	通学費（定期代・駐輪代など） 46.0%	入学料 34.5%
大学・大学院	400	授業料 90.0%	通学費（定期代・駐輪代など） 46.0%	入学料 34.5%

ウ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

（ア）単純集計（上位 3 位）

図表 7 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【単純集計】（報告書 P27）

	子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援
1 位	小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助 (57.7%)
2 位	学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助 (30.3%)
3 位	妊娠・出産にかかる費用補助 (30.1%)

（イ）世帯年収/子どもの人数別

- ① 「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」は、年収や子どもの人数にかかわらず支援が求められている。
- ② 「妊娠・出産にかかる費用補助」は、年収にかかわらず、「子ども 1 人」の世帯で 3 割以上が支援を望んでいる。
- ③ 「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」は、年収が上がるにつれて減少する傾向にあるが、「子ども 3 人以上」の世帯の中では、年収「400～599 万円」の世帯が 62.2%と高く、

「1,200 万円以上」の世帯でも 29.4%と、年収にかかわらず支援が望まれていることがわかる。

図表 8 子どもの産みややすさや子育てのしやすさにつながる支援

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】（報告書P31～33）

	n=	妊娠・出産にかかる費用補助	保育園・幼稚園にかかる費用補助	保育園・幼稚園サービスの向上	小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助	学童保育サービスの向上	学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助	公的な相談窓口の充実	子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援	家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート	食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
～399 万円以下/子ども1 人	159	32.1	20.1	3.1	48.4	8.8	27.0	3.1	2.5	12.6	37.1
～399 万円以下/子ども2 人	86	31.4	17.4	4.7	62.8	3.5	38.4	5.8	0.0	4.7	38.4
～399 万円以下/子ども3 人以上	30	26.7	16.7	3.3	60.0	0.0	36.7	3.3	0.0	13.3	53.3
400～599 万円/子ども1 人	173	36.4	23.1	2.9	56.1	12.1	26.6	4.6	0.6	13.3	28.9
400～599 万円/子ども2 人	136	27.9	16.2	5.1	60.3	8.1	35.3	2.2	0.0	7.4	33.8
400～599 万円/子ども3 人以上	37	27.0	13.5	2.7	73.0	2.7	21.6	5.4	2.7	10.8	62.2
600～799 万円/子ども1 人	166	31.9	19.3	3.6	61.4	10.8	26.5	3.0	1.2	18.1	26.5
600～799 万円/子ども2 人	157	28.7	21.0	7.0	63.7	12.1	39.5	2.5	1.9	18.5	30.6
600～799 万円/子ども3 人以上	55	23.6	14.5	1.8	61.8	10.9	41.8	5.5	3.6	9.1	40.0
800～1,199 万円/子ども1 人	208	36.1	33.2	6.7	55.8	13.5	16.8	2.4	1.4	23.1	14.9
800～1,199 万円/子ども2 人	211	23.2	21.8	8.5	57.3	16.6	35.5	3.3	3.3	19.0	23.2
800～1,199 万円/子ども3 人以上	71	31.0	28.2	4.2	64.8	9.9	39.4	1.4	1.4	11.3	36.6
1,200 万円以上/子ども1 人	97	37.1	28.9	9.3	44.3	21.6	16.5	2.1	4.1	37.1	10.3
1,200 万円以上/子ども2 人	123	22.8	21.1	6.5	56.9	22.8	39.0	0.8	0.0	20.3	16.3
1,200 万円以上/子ども3 人以上	34	23.5	26.5	2.9	58.8	5.9	44.1	0.0	0.0	20.6	29.4

	n=	育児用品にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援	小児医療体制の充実	その他	特にない、わからない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
～399 万円以下/子ども1 人	159	9.4	26.4	3.8	10.7	15.7	10.1	3.8	2.5	1.3
～399 万円以下/子ども2 人	86	7.0	30.2	2.3	11.6	11.6	4.7	3.5	3.5	1.2
～399 万円以下/子ども3 人以上	30	3.3	30.0	3.3	16.7	10.0	6.7	0.0	0.0	3.3
400～599 万円/子ども1 人	173	10.4	29.5	2.3	12.1	16.8	9.2	4.0	1.7	0.0
400～599 万円/子ども2 人	136	5.1	36.8	3.7	7.4	19.1	9.6	4.4	1.5	0.0
400～599 万円/子ども3 人以上	37	2.7	32.4	0.0	2.7	16.2	8.1	5.4	2.7	0.0
600～799 万円/子ども1 人	166	12.7	26.5	3.0	9.0	21.1	6.6	3.6	1.8	0.0
600～799 万円/子ども2 人	157	5.1	19.7	0.6	4.5	17.2	9.6	4.5	0.6	0.0
600～799 万円/子ども3 人以上	55	5.5	23.6	5.5	7.3	16.4	3.6	3.6	5.5	0.0
800～1,199 万円/子ども1 人	208	6.7	17.3	1.4	6.7	23.6	12.5	3.8	2.9	1.0
800～1,199 万円/子ども2 人	211	4.3	17.5	0.9	8.5	23.2	10.0	3.3	1.4	0.5
800～1,199 万円/子ども3 人以上	71	5.6	21.1	1.4	4.2	11.3	9.9	1.4	2.8	0.0
1,200 万円以上/子ども1 人	97	7.2	12.4	3.1	1.0	19.6	17.5	6.2	1.0	0.0
1,200 万円以上/子ども2 人	123	7.3	15.4	0.0	7.3	26.8	16.3	6.5	0.8	0.0
1,200 万円以上/子ども3 人以上	34	5.9	8.8	0.0	2.9	23.5	20.6	2.9	2.9	0.0

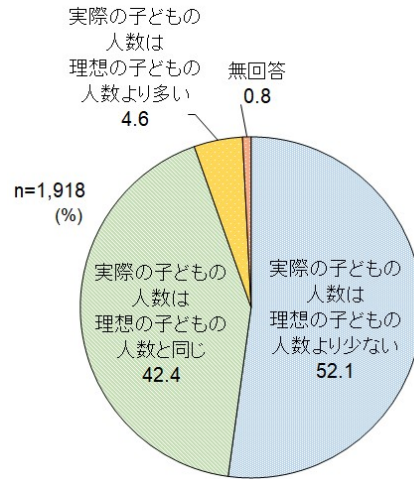
※ TOTAL は「収入はない」「答えたくない」「無回答」の数を含む。

エ 理想とする子どもの人数

(ア) 単純集計

「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」との回答が5割を超えている。

図表9 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数（報告書 P39）



(イ) 世帯年収/子どもの人数別

年収にかかわらず、「子ども1人」の世帯では7割以上、「子ども2人」の世帯でも3～4割が「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」と考えている。

図表10 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】（報告書 P40）

- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い
- 無回答

	n=	(%)			
TOTAL	1918	52.1	42.4	4.6	0.8
～399万円以下/子ども1人	159	71.7	26.4	1.3	0.6
～399万円以下/子ども2人	86	34.9	57.0	8.1	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	30	13.3	43.3	40.0	3.3
400～599万円/子ども1人	173	72.8	24.9	1.2	1.2
400～599万円/子ども2人	136	42.6	51.5	5.7	2.2
400～599万円/子ども3人以上	37	10.8	78.4	10.8	0.0
600～799万円/子ども1人	166	74.1	24.1	1.8	0.0
600～799万円/子ども2人	157	40.1	56.7	1.9	1.3
600～799万円/子ども3人以上	55	10.9	69.1	18.2	1.8
800～1,199万円/子ども1人	208	76.4	22.6	0.5	0.4
800～1,199万円/子ども2人	211	44.5	51.2	2.8	1.4
800～1,199万円/子ども3人以上	71	7.0	71.8	21.1	0.0
1,200万円以上/子ども1人	97	76.3	22.7	1.0	0.0
1,200万円以上/子ども2人	123	39.8	58.5	1.6	0.0
1,200万円以上/子ども3人以上	34	17.6	73.5	8.8	0.0

※ TOTAL は「収入はない」「答えたくない」「無回答」の数を含む。

(ウ)「理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因」の単純集計（上位3位）

図表 11 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【単純集計】（報告書 P44）

	理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因
1 位	子育てや教育にお金がかかりすぎる (62.8%)
2 位	年齢的に妊娠・出産することにリスクがある (37.2%)
3 位	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない(34.7%)

(エ) 世帯年収/子どもの人数別の「理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因」

- ① 「子育てや教育にお金がかかりすぎる」は、年収にかかわらず、「子ども1人」の世帯より「子ども2人」の世帯で回答の割合が高い。
- ② 全体の上位3項目以外では、「子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい」が「～399万円以下/子ども2人」の世帯で40.0%、「400～599万円/子ども2人」の世帯で39.7%と、4割前後となっている。

図表 12 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】（報告書 P45～46）

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7
～399万円以下/子ども1人	114	8.8	8.8	25.4	3.5	4.4	31.6	9.6
～399万円以下/子ども2人	30	3.3	16.7	26.7	0.0	0.0	23.3	3.3
～399万円以下/子ども3人以上	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0
400～599万円/子ども1人	126	11.1	15.1	36.5	2.4	0.8	34.1	8.7
400～599万円/子ども2人	58	5.2	6.9	43.1	3.4	3.4	32.8	12.1
400～599万円/子ども3人以上	4	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0
600～799万円/子ども1人	123	13.8	17.1	41.5	3.3	4.1	29.3	7.3
600～799万円/子ども2人	63	6.3	11.1	31.7	6.3	9.5	52.4	7.9
600～799万円/子ども3人以上	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
800～1,199万円/子ども1人	159	15.1	16.4	45.9	5.0	3.8	34.0	11.3
800～1,199万円/子ども2人	94	10.6	17.0	35.1	5.3	8.5	42.6	6.4
800～1,199万円/子ども3人以上	5	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
1,200万円以上/子ども1人	74	14.9	32.4	36.5	0.0	5.4	31.1	12.2
1,200万円以上/子ども2人	49	4.1	8.2	44.9	6.1	14.3	40.8	10.2
1,200万円以上/子ども3人以上	6	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	33.3	0.0

(次ページに続く)

	n=	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どもをのびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
～399万円以下/子ども1人	114	63.2	33.3	31.6	12.3	11.4	3.5	3.5
～399万円以下/子ども2人	30	76.7	40.0	43.3	6.7	16.7	3.3	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	4	100.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
400～599万円/子ども1人	126	71.4	28.6	36.5	8.7	8.7	0.8	2.4
400～599万円/子ども2人	58	74.1	39.7	32.8	10.3	5.2	3.4	0.0
400～599万円/子ども3人以上	4	50.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
600～799万円/子ども1人	123	62.6	23.6	24.4	8.1	11.4	0.8	0.8
600～799万円/子ども2人	63	71.4	22.2	25.4	9.5	4.8	3.2	0.0
600～799万円/子ども3人以上	6	83.3	83.3	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0
800～1,199万円/子ども1人	159	57.2	20.1	28.3	3.8	5.7	1.9	1.3
800～1,199万円/子ども2人	94	62.8	29.8	23.4	9.6	7.4	2.1	1.1
800～1,199万円/子ども3人以上	5	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
1,200万円以上/子ども1人	74	41.9	16.2	20.3	4.1	8.1	5.4	1.4
1,200万円以上/子ども2人	49	57.1	30.6	30.6	4.1	8.2	0.0	2.0
1,200万円以上/子ども3人以上	6	83.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0

※ TOTAL は「収入はない」「答えたくない」「無回答」の数を含む。

2 今後の方針

- (1) 教育費用については、小・中学校の入学準備金や修学旅行費、教材費等の補助を新たに開始することで、保護者の経済的負担の縮減を図るとともに、その分で子どもの「学習塾」「習い事」「体験活動」の費用を捻出していただくよう保護者に周知していく。
- (2) 多子世帯については、金銭面だけでなく保護者の時間的余裕のなさから、子どもに習い事や体験をさせられていない傾向が見られるため、子どもの居場所や預かり場所での体験活動の実施など既存事業の拡充も含めて検討していく。

総務委員会報告資料

令和7年4月14日

件名	自治体情報システム標準化・共通化の遅延について						
所管部課名	政策経営部 情報システム課						
内容	自治体情報システム標準化については、令和7年度中の稼働を目指して進めているところであるが、そのうち健康管理システムを構築する事業者から稼働延伸の申し入れがあったため報告する。 1 対象システム (1) システム名 健康管理システム（母子健診や予防接種、がん検診等を管理するシステム） (2) 事業者名 日本コンピューター株式会社 (3) 延伸理由 ア システムエンジニアのリソース不足 イ 国標準仕様書の改版（直近で令和6年8月、7年1月実施） (4) 延伸の期間 <table border="1"> <tr> <td>現在</td><td>令和8年3月稼働予定</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">↓</td></tr> <tr> <td>見直し後</td><td>令和9年3月稼働予定</td></tr> </table> 2 他区の状況 当該事業者のシステムは17区が導入しており、全ての区に同様の申し入れをしているとの報告を受けた。 3 遅延による影響 本システムは、現行システムをガバメントクラウドに移行してから標準化する計画であったため、延伸する場合は現行システムを使い続けることになり、現在の業務を行う上で大きな影響は発生しない。 4 今後の対応 (1) 標準仕様書の改版については、システム標準化のスケジュールに重大な影響を及ぼすため、国に対して、全国市長会などを通じて、無理のない開発スケジュールが確保できるように改版時期の考慮や改版内容の早期開示を引き続き求めていく。 (2) 区民や業務への影響が出ないように、標準化プロジェクトの進捗管理を適切に行う。	現在	令和8年3月稼働予定	↓		見直し後	令和9年3月稼働予定
現在	令和8年3月稼働予定						
↓							
見直し後	令和9年3月稼働予定						

5 参考

当該システム以外に稼働遅延が予定されているのは、報告済の以下システムである。

システム名	事業者名	稼働予定
子ども・子育て支援	富士通 JAPAN 株式会社	未定
就学・就学援助	富士通 JAPAN 株式会社	未定

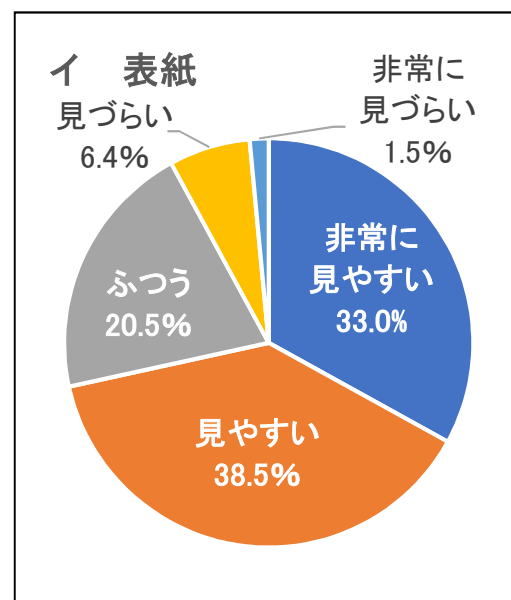
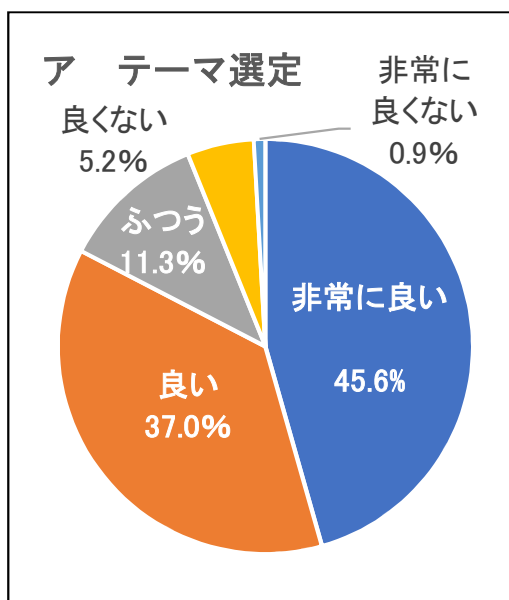
総務委員会報告資料

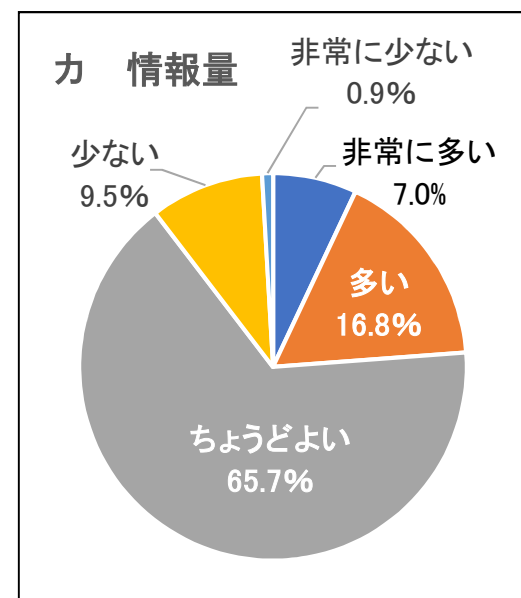
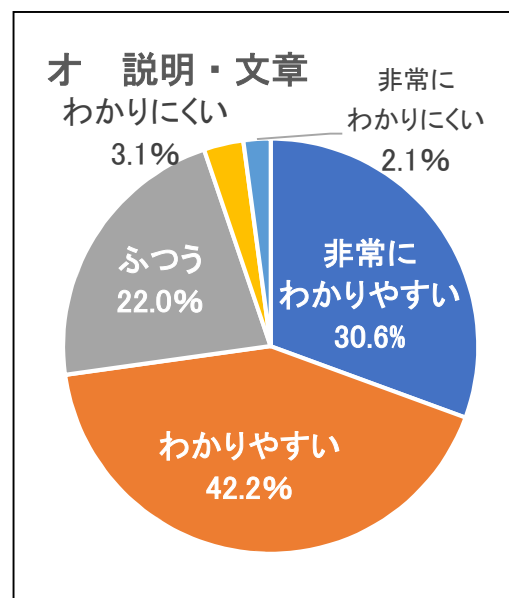
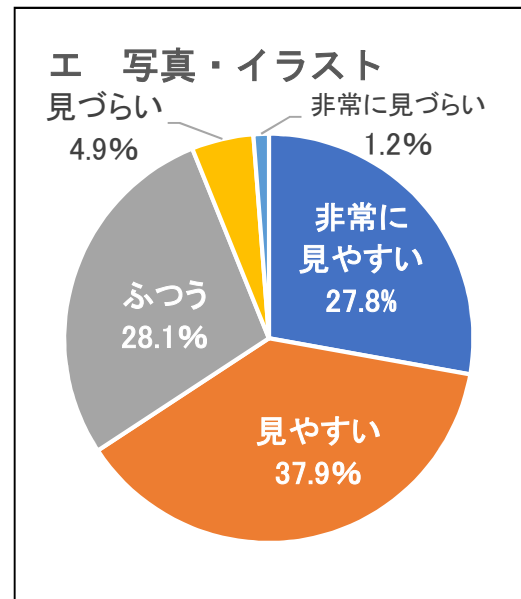
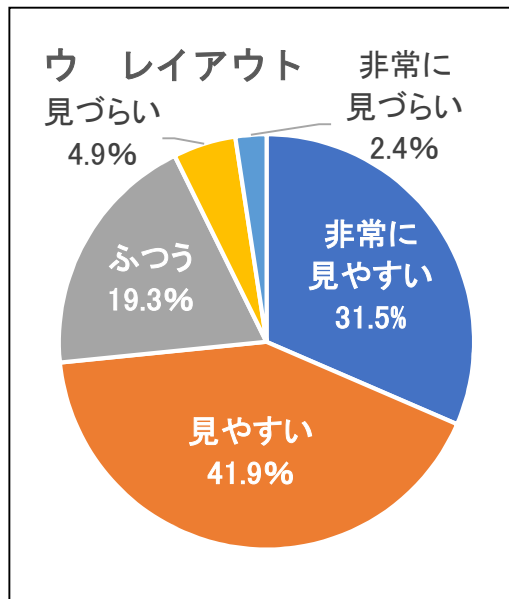
令和7年4月14日

件名	広報紙モニターによるアンケート結果（令和6年度下半期分）について												
所管部課名	政策経営部 報道広報課												
内容	令和6年10月から実施している広報紙モニターによるアンケートについて、令和6年度下半期分の結果を報告する。 1 広報紙モニター概要 <table border="1"> <tr> <td>人数</td><td>60人（男性17人、女性43人） ※ 18-29歳/30-39歳/40-49歳/50-59歳/ 60-69歳/70歳以上の6グループから各10人</td></tr> <tr> <td>任期</td><td>1年（令和7年9月まで）</td></tr> <tr> <td>方法</td><td>毎月10日号発行時に、区から依頼するアンケートに回答（原則、オンライン申請による回答）</td></tr> <tr> <td>アンケート内容</td><td>特集企画に関する「テーマ」「表紙」「レイアウト」「写真・イラスト」「説明・文章」「情報量」の評価（5段階評価＋意見）等</td></tr> <tr> <td>回答人数</td><td>平均55人</td></tr> </table> 2 アンケート結果 （1）結果の概要 ア 特集企画は「荒川放水路通水100周年」「ひきこもり」「新年特集号」など、内容や対象とする年代は幅広かったが、企画によって結果に大幅な変動は少なく、総じて高い評価となった。 イ マイナス評価の主な理由としては、「テーマは良いが、暖かい時期の掲載の方が外出につながる」「記事的に仕方ないが、見開き面で文字量が多いとそもそも読まない人が出るのでは」「写真が多いため仕方ないが、私には文章量が少なく物足りない」などであった。 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td><td>① いずれの号も「非常に良い」「良い」の合計で70%超、平均82.6% ② 「良くない」「非常に良くない」は平均6.1%</td></tr> </table>	人数	60人（男性17人、女性43人） ※ 18-29歳/30-39歳/40-49歳/50-59歳/ 60-69歳/70歳以上の6グループから各10人	任期	1年（令和7年9月まで）	方法	毎月10日号発行時に、区から依頼するアンケートに回答（原則、オンライン申請による回答）	アンケート内容	特集企画に関する「テーマ」「表紙」「レイアウト」「写真・イラスト」「説明・文章」「情報量」の評価（5段階評価＋意見）等	回答人数	平均55人	テーマ	① いずれの号も「非常に良い」「良い」の合計で70%超、平均82.6% ② 「良くない」「非常に良くない」は平均6.1%
人数	60人（男性17人、女性43人） ※ 18-29歳/30-39歳/40-49歳/50-59歳/ 60-69歳/70歳以上の6グループから各10人												
任期	1年（令和7年9月まで）												
方法	毎月10日号発行時に、区から依頼するアンケートに回答（原則、オンライン申請による回答）												
アンケート内容	特集企画に関する「テーマ」「表紙」「レイアウト」「写真・イラスト」「説明・文章」「情報量」の評価（5段階評価＋意見）等												
回答人数	平均55人												
テーマ	① いずれの号も「非常に良い」「良い」の合計で70%超、平均82.6% ② 「良くない」「非常に良くない」は平均6.1%												

表紙	① いずれの号も「非常に見やすい」「見やすい」の合計で50%超、平均71.5% ② 「見づらい」「非常に見づらい」は平均7.9%
レイアウト	① いずれの号も「非常に見やすい」「見やすい」の合計で60%超、平均73.4% ② 「見づらい」「非常に見づらい」は平均7.3%
写真・イラスト	① いずれの号も「非常に見やすい」「見やすい」の合計で55%超、平均65.7% ② 「見づらい」「非常に見づらい」は平均6.1%
説明・文章	① いずれの号も「非常にわかりやすい」「わかりやすい」の合計で65%超、平均72.8% ② 「わかりにくい」「非常にわかりにくい」は平均5.2%
情報量	① いずれの号も「ちょうどよい」が55%超、平均65.7% ② 「非常に多い」「多い」の合計で平均23.8%、「少ない」「非常に少ない」は平均10.4%

(2) 項目別アンケート結果





(3) 反映した意見

ア ホームページにPDF版が紙面レイアウトのまま表示されているが、読む順番通りの方が見やすいのではないかな。

※ 紙面を見開いた状態のまま表示されていたため、1面ごとに切り離し、読む順番に表示するように修正した。

イ 毎号欄外に掲載している「放射線量の調査」は指標を大幅に下回っており、外してもよいのではないかな。

※ 毎号掲載していたが、月1回に集約してお知らせするように修正した。

ウ 文字数が多く、あまり読む気になれない。

※ 特集内容にもよるが、可能な限り文字を削減し、余白や画像等を活用することで、「読んでみたい」と感じてもらえるように意識して制作を進める。

3 問題点・今後の取り組み等

- (1) 引き続き9月まで、広報紙モニターによる広報紙への率直な評価、要望等を聴取することで、より魅力的な紙面づくりに役立てる。
- (2) 9月までの実施による課題を抽出・改善した上で、今後の実施方法などについて検討する。
- (3) 令和7年度上半期の結果及び今後の検討結果について、議会に報告する。

総務委員会報告資料

令和7年4月14日

件名	千住宿開宿400年に伴う実施予定事業について
所管部課名	政策経営部 シティプロモーション課
内容	千住宿開宿400年に関する庁内事業等をまとめたため、以下のとおり報告する。 1 目的 (1) 千住宿開宿400年を契機に、足立区のキータウン「千住」の魅力を区内外に広くPRし、来街者の増加を図り、地域・経済の活性化につなげる。 (2) 様々なステークホルダーとの協創によりプロジェクトを進めることで、各主体の新たなつながりを創出し、終了後も持続可能な地域活性化につなげる。 2 区の実施予定事業 別紙参照 3 今後の方針 (1) 各部の個別事業の詳細については、必要に応じて所属委員会で報告する。 (2) 区民や地域、団体、事業者の声を丁寧に伺い、相互協力の関係を構築していく。

千住宿開宿400年 関連事業一覧表(予定)

2025. 3. 24時点

別紙

NO.	部	課	分類	事業・取り組み名	既存 or 新規	概要	実施時期	予算（概算） （千円）
1	政策経営部	報道広報課	周知・PR	あだち広報特集「千住宿400年」	新規	千住宿開宿400年の歴史とそれにちなんだイベント情報を掲載する	9月10日号 （予定）	不要
2			周知・PR	千住宿開宿400年記念特集ホームページ （仮）	新規	あだち広報の千住宿開宿400年特集と関連した内容のホームページを作成	9月10日号 （予定）	不要
3			周知・PR	千住宿開宿400年記念広報番組（仮）	新規	千住宿開宿400年を記念した広報番組（J:COM足立で放映、30分程度予定）の作成	9月（予定）	3,000千円
4		シティプロモーション課	イベント・企画	アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住・人情芸術祭 表現街」	既存	千住宿として栄えたほんちよう商店街を舞台に、公募により集まった団体・個人が歌やダンス、パントマイムなど同時多発的にパフォーマンスを行う	5月25日	区負担金 29,000千円 （他のプログラムも実施）
5			イベント・企画	アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住だじゃれ音楽祭 キタ！ 千住の1010人」	新規	作曲家「野村誠」と公募で集まった「だじゃれ音楽研究会」が中心となり、地域の縁を繋ぎながら1010人の演奏者を集め、だじゃれ音楽（だじゃれと音楽を結びつけたもの）の演奏を行う参加型コンサート	10月12日	
6			イベント・企画	アートアクセスあだち 音まち千住の縁文化サロン「仲町の家」の活用	既存	千住宿開宿400年を念頭に、郷土博物館とも連携しながら事業を実施する	通年	
7			周知・PR	千住宿開宿400年ロゴの運用管理	新規	機運醸成・一体感の創出のため、制作したロゴの周知、管理などを行う	通年	不要
8			周知・PR	ノベルティグッズの配布等	新規	PR用配布物品を製作し、イベント等で配布する メモ帳／マスキングテープ／ステッカー／シール／ポストカード／のぼり旗（掲出用）	4月以降配布	1,200千円
9			周知・PR	横断幕等の掲出	新規	本庁舎、北千住駅南改札口、ベデストリアンデッキ、北千住駅前商業施設等に横断幕や懸垂幕を掲出する	3月～令和8年3月	400千円
10			周知・PR	区外に向けたシティプロモーション	新規	ユーチューバーを活用した動画配信や、鉄道広告、雑誌等への広告掲載等を戦略的に展開することで、広く区内外への周知を図る	9月～12月頃	20,000千円 （他のプロモーションも実施）
11			周知・PR	千住宿開宿400年に関連した広報物の作成	新規	千住宿開宿400年に関する地域イベント等を紹介する広報物を作成する	8月～10月頃	200千円
12			その他	千住5大学との連携企画	既存	学園祭における関連イベントの実施を促す。 各大学が独自に行う千住宿開宿400年事業の広報を支援する	通年	不要
13			その他	庁内外における企画のサポート・コーディネート	既存	千住宿開宿400年に関連した企画のサポート・コーディネートを行う	通年	不要
14	総務部	人事課	その他	職員名札の作成	新規	区職員が着用する名札デザインの変更	4月1日～令和8年3月31日	130千円

NO.	部	課	分類	事業・取り組み名	既存 or 新規	概要	実施時期	予算（概算） （千円）
15	地域のちから推進部	地域調整課	補助・助成	町会・自治会運営助成等の活用	既存	町会・自治会が千住宿開宿400年に関連する事業を実施する場合、既存の助成金が活用できることを周知する 【参考】 地域活性化事業助成 上限額20万円 子ども向け地域活性化事業助成 上限額30万円	通年	助成金の範囲で支出
16		地域文化課	イベント・企画	ストリートピアノ	既存	ギャラクシティで実施しているストリートピアノについて、5月25日に行われる「表現街」とコラボレーションし、JR北千住駅南改札口で開催する	5月25日	不要
17			イベント・企画	大学連携事業	既存	東京藝術大学在学生・卒業生による千住宿開宿400年要素を絡めたコンサート(400年前に作曲された曲や和楽器など検討中)	11月3日	大学連携委託料 3,868千円 の中から支出
18			イベント・企画	心を育てる世界のお話読み聞かせ（仮）	新規	【指定管理者事業】 俳優の泉ピン子氏と鈴木福氏による世界・日本の童話、千住宿を含む足立区内の地名に関連した逸話の読み聞かせ 実施施設：シアター1010	10月12日	不要
19			イベント・企画	企画展「千住・足立の文化遺産（前期）」	新規	権威ある美術雑誌「國華」で掲載された「千住・足立の文化遺産」特集で紹介した美術作品を紹介。前期は琳派作品を中心に展示する	4月26日 ～ 6月29日	7,147千円
20			イベント・企画	まちなか展示	新規	千住地域の区有施設内などに美術品等を展示し、回遊を促す	9月～12月 （予定）	655千円
21			イベント・企画	記念シンポジウム	新規	日光街道最初の宿場で江戸四宿の中でも群を抜いて大規模であった千住宿について、繁栄の中に豊かな文化や美術が息づいたことが、文化遺産調査で明らかになってきており、パネルディスカッションで当時の暮らしを討論する	12月20日	5,197千円
22			イベント・企画	特別展示「千住宿400年」	既存	千住の歴史資料や文化遺産を展示し、千住宿を「歩み」（歴史）「地の利」（地理）「人びと」（人物群像）の三テーマで紹介	10月21日～ 令和8年1月11日	9,547千円
23			イベント・企画	企画展「千住・足立の文化遺産（後期）」	新規	権威ある美術雑誌「國華」で掲載された「千住・足立の文化遺産」特集で紹介した美術作品を紹介。後期は狩野派・谷派作品を中心に展示する	令和8年2月14日 ～ 4月12日	7,147千円
24		中央図書館 図書館サービスデザイン 担当課	イベント・企画	特集展示	新規	千住宿開宿400年に関連した特集展示を行う	4月～令和8年3月	不要
25			イベント・企画	ウィキペディアタウン@千住宿	新規	まち歩きの後、地域の文化財や観光名所などの情報を調べて、その成果をウィキペディアの記事にまとめるワークショップ形式のイベント	7月26日 または8月2日	29千円
26			周知・PR	記念しおりの作製・配布	新規	千住宿開宿400年の記念しおりを作製し周知・PRに活用する	9月1日～令和8年3月 31日	250千円
27			周知・PR	記念貸出カードの作成	新規	千住宿開宿400年仕様にデザインした貸出カードを作製し、新規登録者及び再発行希望者へ発行する	9月1日～令和8年3月 31日	500千円

NO.	部	課	分類	事業・取り組み名	既存 or 新規	概要	実施時期	予算（概算） （千円）
28	地域のちから推進部	生涯学習支援課	イベント・企画	中国語で千住まちあるき	既存	【指定管理者事業】 千住宿開宿400年を資料やまち歩きに盛り込んで実施 ※センターの講座講師と連携した韓国語・英語・フランス語による千住まち歩きも検討中 実施施設：生涯学習センター	令和8年2月	不要 （指定管理料から 支出）
29			イベント・企画	大学生による千住まちあるき	既存	【指定管理者事業】 大学生の視点からみた千住の魅力を紹介しながらまち歩きを実施。千住宿開宿400年に関する説明を盛り込む 実施施設：生涯学習センター	11月	不要 （指定管理料から 支出）
30			イベント・企画	あだちサークルフェア	既存	【指定管理者事業】 あだち区民まつりと同時開催するイベントで、千住宿開宿400年の展示を行う 実施施設：生涯学習センター	10月11日・12日	不要 （指定管理料から 支出）
31			イベント・企画	東京未来大学共催 古文書講座（千住宿をテーマ）	既存	【指定管理者事業】 千住宿に関する古文書を読み解き、開宿400年に関する学びを深める（3回講座） 実施施設：生涯学習センター	7月4日・11日・18日 （予定）	不要 （指定管理料から 支出）
32			イベント・企画	あだち区民大学塾 千住宿400年記念講座「千住宿400年の人と歴史」（4日制）	新規	【指定管理者事業】 「千住宿の成立と発展」「千住宿の文化と医学の話」「千住宿の文化人たち」「千住宿を歩く（現地学習）」の4日間講座 実施施設：生涯学習センター	5月8日～29日の 毎週木曜日	不要 （指定管理料から 支出）
33			イベント・企画	（仮題）千住まちあるきツアー	既存	【指定管理者事業】 千住エリアの史跡・寺社を参加者全員で徒歩で巡る。各見学場所では歴史や由来についてガイドによるインカム解説あり 実施施設：佐野地域学習センター	9月17日 または11月19日	不要 （指定管理料から 支出）
34			イベント・企画	講座「千住宿の文化財」	新規	【指定管理者事業】 千住宿の文化財を紹介し、千住宿開宿400年に関する学びを深める 実施施設：江北地域学習センター	6月9日	不要 （指定管理料から 支出）
35			周知・PR	ミニコミ紙特集ページ	新規	センターミニコミ紙「トントン」にて、特集記事を掲載 実施施設：江北地域学習センター	5月号 掲載予定	不要 （指定管理料から 支出）
36			イベント・企画	千住宿散策ツアー （インカムガイド付き）	新規	【指定管理者事業】 千住文化普及会の案内のもと、北千住～南千住周辺の寺社や史跡を巡る。各見学場所では歴史や由来について解説を行う 実施施設：新田地域学習センター	10月25日 （予定）	不要 （指定管理料から 支出）
37			イベント・企画	郷土博物館出張講演 「千住宿と浮世絵」	新規	【指定管理者事業】 郷土博物館の学芸員を招き、千住宿と浮世絵をテーマに、時代背景や当時の文化、人物をその作品とともに解説してもらう 実施施設：新田地域学習センター	9月26日 （予定）	不要 （指定管理料から 支出）
38			周知・PR	POP等の掲示	新規	ロビーでのPOP掲示や千住宿開宿400年にまつわる展示等 実施施設：中央本町地域学習センター	秋頃	不要 （指定管理料から 支出）
39		スポーツ振興課	イベント・企画	ウォーキングチャレンジ	既存	歩数の達成シートに千住宿を発着地とするなどして活用する	10月25日～11月30日	不要

NO.	部	課	分類	事業・取り組み名	既存 or 新規	概要	実施時期	予算（概算） （千円）
40	産業経済部	産業振興課	イベント・企画	第4回レシートde商品券事業	既存	区内店舗で買い物したレシートを集めて応募すると区内商品券がもらえる事業。千住宿開宿400年に合わせて、応募者の中から抽選で400人に4,000円分の商品券を追加でプレゼント	5月～7月予定	570,000千円
41			補助・助成	商店街イベントへの助成	新規	千住宿開宿400年を記念する大規模な商店街イベントにかかる経費を一部助成 補助率：4/5 補助限度額：800万円 補助件数：2件	4月～令和8年3月	16,000千円
42			周知・PR	ミニのぼりの設置	新規	区有施設、商店街店舗等にミニのぼりを設置し、千住宿開宿400年をPRする	5月～令和8年3月	600千円
43			周知・PR	記念フラッグの設置	新規	主に千住地域の商店街街路灯に千住宿開宿400年フラッグを設置	3月～令和8年3月	6,000千円
44	環境部	環境政策課	イベント・企画	環境学習出前講座の活用	既存	千住宿が開宿した400年前のエコな生活を題材として取り入れた環境学習出前講座を、小・中学校向けに展開する	6月～令和8年3月 （予定）	不要
45	都市建設部	まちづくり課	補助・助成	公益信託あだちまちづくりトラストの活用	既存	まちづくりトラストの実施時期に合わせ、千住宿開宿400年に関連したイベント、事業等のトラスト活用促進に向けた広報を実施する	【事前相談】 4月10日～5月9日 【申請受付】 5月12日～6月10日	不要
46		交通対策課	周知・PR	はるかぜバスを活用した千住宿開宿400年の周知活動	新規	千住エリアを運行するはるかぜバスの車内サイネージを活用して、千住宿開宿400年の周知を図る	6月～8月（予定）	不要
47		道路維持課・公園維持課	周知・PR	横断幕の製作・設置	新規	千住スポーツ公園に横断幕を設置する	7月頃	100千円
48			周知・PR	千住宿開宿400年ロゴのステッカー・看板を作成し施設等に貼付	新規	（設置施設等） ・北千住駅東口交通広場、千住大橋駅のガードパイプ ・荒川河川敷シルバー詰所・トイレ・倉庫の壁面 ・千住スポーツ公園、千住旭公園、大橋公園 ・じゃぶじゃぶ池（千住旭公園、千住公園、尾竹橋公園） ・道路維持課、公園維持課所有車両、道路・公園維持作業委託班の車両	7月頃	264千円
49			イベント・企画	柳原千草園と河川敷虹の広場の夏花壇に和風の演出を加える	新規	・江戸時代からある、アサガオや菊を植え付ける（江戸園芸風） ・ロゴマークをA4程度に印刷して間にたてる（立て看板を和風に） ※ 河川敷の花壇は包括委託のため、今後要調整	7月～8月 （花の植え替えの時期）	不要 （既存の委託業務で実施）
50	教育指導部	教育指導課	イベント・企画	調べる学習コンクール	新規	例年実施している「図書館を使った調べる学習コンクール」において、令和7年度は千住宿開宿400年特別賞を設けるなどして気運醸成を図る	7月～令和8年2月	90千円 （記念品等）
51		教育政策課	イベント・企画	小・中学生向け落語講演会と調べ学習ワークショップ	新規	調べる学習コンクールの実施に向け、千住宿をテーマとした小・中学生向け落語講演会と調べ学習ワークショップを開催する	5月31日	67千円 （イベント講師謝礼）
52	学校運営部	学務課	イベント・企画	千住宿開宿400年をテーマにした学校給食の献立作成	新規	千住に縁のある人物や野菜を意識した献立などを作成し、各小・中学校で千住宿開宿400年の機運を盛り上げる	11月～12月頃	不要

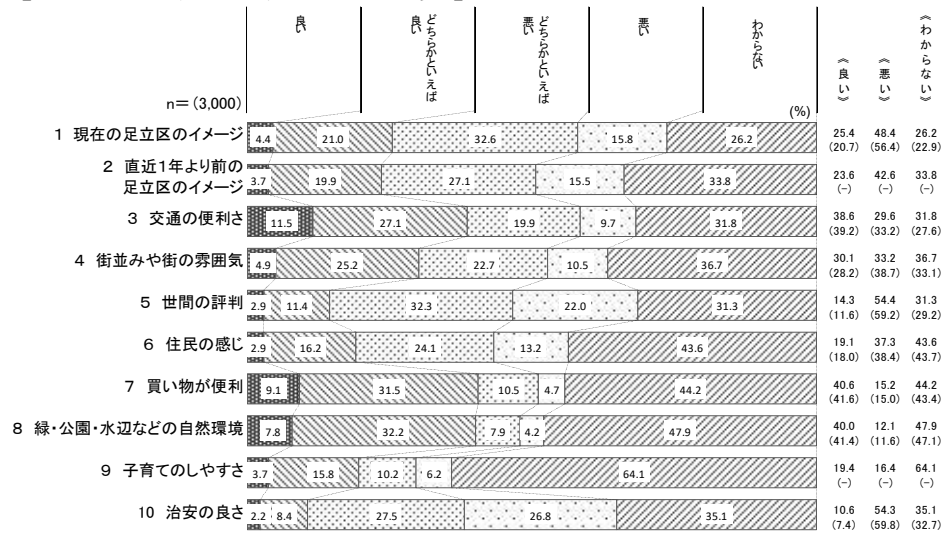
NO.	部	課	分類	事業・取り組み名	既存 or 新規	概要	実施時期	予算（概算） （千円）
53	その他	観光交流協会	イベント・企画	「足立の花火」でのPR等	新規	「足立の花火」にて千住宿開宿400年をPRする	5月31日	5,500千円
54			イベント・企画	「あだち区民まつり」でのPR等	新規	「あだち区民まつり」にて千住宿開宿400年をPRする	10月11日・12日	1,000千円
55			イベント・企画	区内外でのPR出展	新規	区内イベント出展や有楽町で実施するTOKYO周機祭等の区外イベント出展時に千住宿開宿400年をPRする （のぼり旗、催事スカート、ノベルティを製作）	9月・11月・12月	150千円
56			周知・PR	特設サイトの運営	新規	千住宿開宿400年記念特設サイトの管理運営（サイト制作は6年度中）	通年	1,441千円
57			イベント・企画	月刊江戸楽 千住宿特集発行	新規	月刊江戸楽に千住宿開宿400年を記念した特集を掲載、発行する（令和7年9月号）	8月下旬発行予定	3,113千円
58			イベント・企画	千住宿開宿400年 千住地域魅力体感企画開発・運営及びPR業務委託	新規	千住宿開宿400年を記念して、来街者へ千住地域の魅力を伝える独自イベントを実施する。期間中に何度も千住地域へ来訪してもらえるような工夫を取り入れるとともに、区内外へPRし、区のイメージアップを図る内容とする	9月～11月	35,000千円
59			周知・PR	ノベルティグッズの作製・配布	新規	千住宿開宿400年の記念グッズを作製し周知・PRに活用する （ロゴマーク型の消しゴム／ロゴマーク缶バッジ／ミニノート／えんぴつ）	5月以降配布予定	2,167千円
60			周知・PR	協会Instagramでの情報発信	既存	観光交流協会が運用しているInstagramに、関連情報（イベントやスポット等）を掲載する	4月以降随時	不要
61			補助・助成	千住宿開宿400年 補助金事業	既存	「千住宿開宿400年」に関連した活動や行事を行う団体に対して、観光交流協会より補助金を交付する	4月1日～令和8年2月13日	12,500千円

総務委員会報告資料

令和7年4月14日

件名	令和6年度区外からの足立区に対するイメージ調査の結果について																				
所管部課名	政策経営部 シティプロモーション課																				
内容	令和5年度に引き続き4回目となる調査の結果を報告する。詳細は別添「足立区に対するイメージ調査報告書」を参照。 1 調査概要 (1) 目的 足立区外在住者が持つ足立区に対するイメージを調査することで、効果的なプロモーションを展開する。 (2) 調査時期：令和6年12月6日（金）～18日（水） (3) 回答者数及び調査方法 ア 18歳から69歳の男女3,000人から回答 イ WEBモニター調査（調査委託事業者の登録モニター対象） (4) 調査地域 ア 東京都23区東部、中央部、西部 イ 埼玉県（春日部市、越谷市、草加市、三郷市、八潮市） ウ 千葉県・茨城県（我孫子市、柏市、つくば市、取手市、流山市、松戸市） 2 主な調査結果 (1) 足立区の印象 「足立区のイメージ」や「治安」「世間の評判」など、印象が悪い傾向にある指標は全体的に良化した。 【足立区のイメージの推移】 <table><thead><tr><th>年度</th><th>良い (%)</th><th>悪い (%)</th><th>わからない (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度</td><td>22.0</td><td>59.8</td><td>18.2</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>24.1</td><td>53.4</td><td>22.5</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>20.7</td><td>56.4</td><td>22.9</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>25.4</td><td>48.4</td><td>26.2</td></tr></tbody></table>	年度	良い (%)	悪い (%)	わからない (%)	令和3年度	22.0	59.8	18.2	令和4年度	24.1	53.4	22.5	令和5年度	20.7	56.4	22.9	令和6年度	25.4	48.4	26.2
年度	良い (%)	悪い (%)	わからない (%)																		
令和3年度	22.0	59.8	18.2																		
令和4年度	24.1	53.4	22.5																		
令和5年度	20.7	56.4	22.9																		
令和6年度	25.4	48.4	26.2																		

【足立区の印象の調査結果一覧】

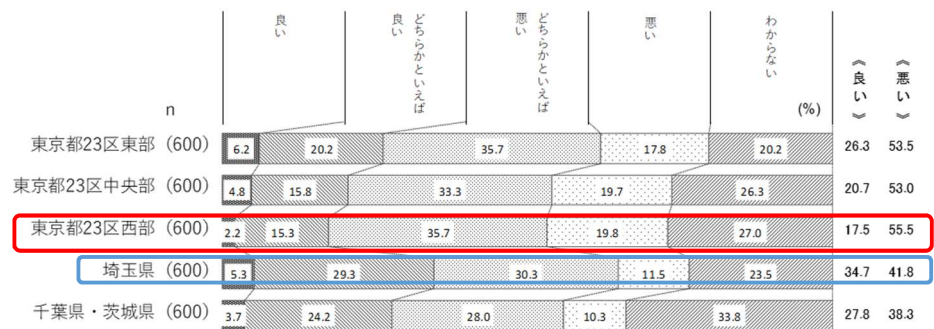


※ () 内は令和5年度調査結果

(2) 足立区のイメージのクロス集計

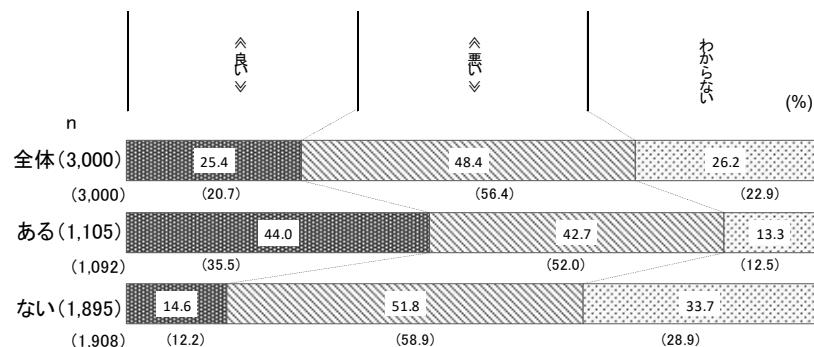
ア 居住地別のイメージ

埼玉県など、足立区にアクセスの良い地域はイメージが良い傾向にあるのに対し、アクセスがあまり良くない東京都西部はイメージが悪い傾向にある。



イ 訪問経験別のイメージ

足立区への訪問経験がある人となない人では、イメージが良いと答えた人の割合に約30ポイントのギャップがあり、訪問経験が足立区のイメージ向上に重要なことが分かる。

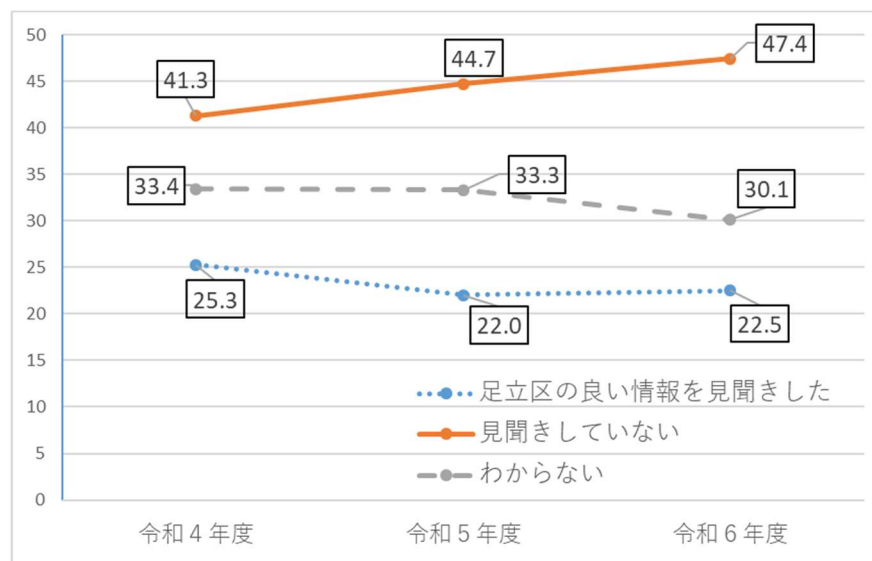


※ () 内は令和5年度調査結果

(3) 足立区の良い情報をメディアで見聞きしたか

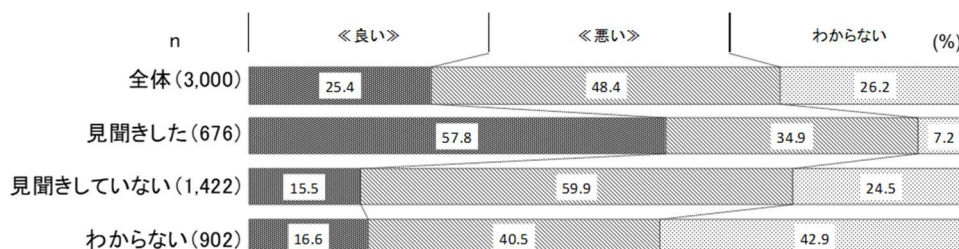
ア 良い情報の見聞きの推移

良い情報を見聞きした人の割合は令和5年度から大きな変化はなく、約5割が過去1年間で足立区の良い情報を見聞きしていない。



イ 「足立区に関する良い情報の見聞き」の有無別イメージ

足立区の良い情報を見聞きした人と見聞きしていない人では、足立区に良いイメージを持つ割合に40ポイント以上のギャップがあり、イメージ向上には足立区の良い情報を届けることが重要である。

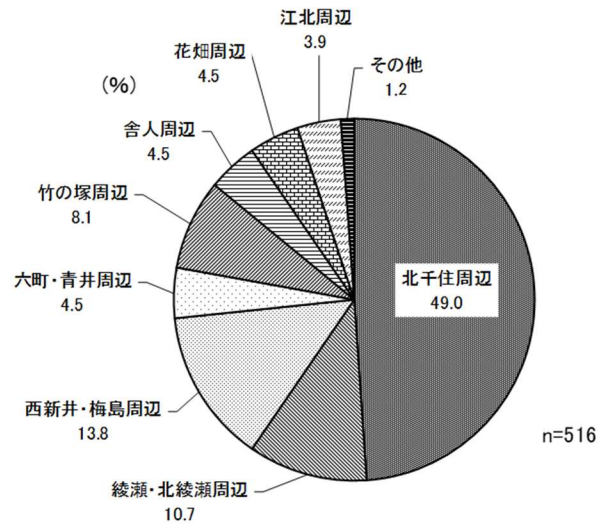


(4) 足立区で最もよく訪れたエリア【新設】

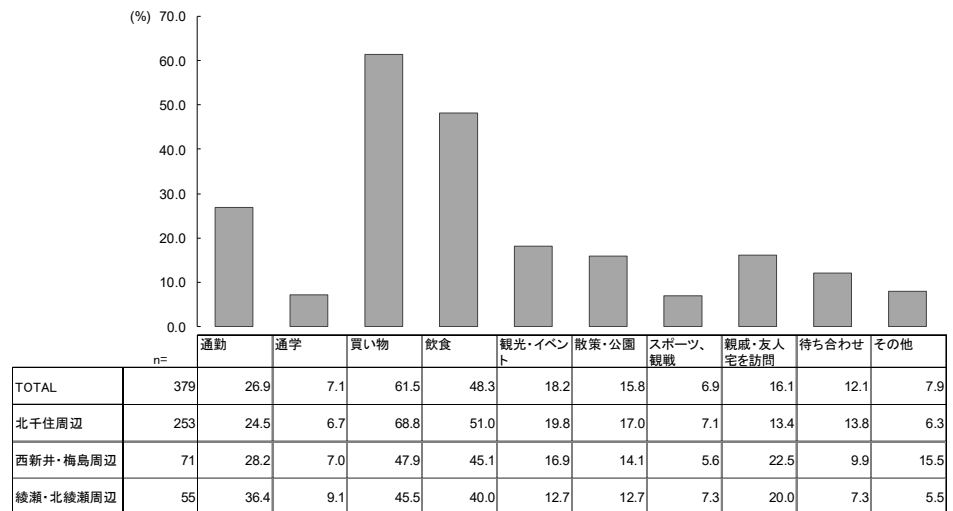
今後のエリアプロモーションの参考とするため、過去1年の間に足立区を訪れた経験が「月に1回以上ある」と回答した方に、最もよく訪れたエリアを聴取した。

結果としては「北千住」が半数を占め、千住エリアの魅力を伝えていくことが、足立区への訪問に繋がる可能性が高いことが分かる。なお、北千住エリアを訪れた理由では、「買い物」「飲食」が圧倒的に多い。

【足立区で最もよく訪れたことのあるエリア】



【足立区を訪れた理由】



3 今後の方針

区外からのマイナスイメージ払拭に向け、区外へ向けたシティプロモーションを強化していくとともに、今年度は千住宿開宿400年の節目にあたることから、千住の魅力を中心にプロモーションを行うことで、来訪促進とイメージ向上に取り組んでいく。

総務委員会報告資料

令和7年4月14日

件名	金額入り工事設計書の公表について
所管部課名	政策経営部 区政情報課 施設営繕部 中部地区建設課、都市建設部 都市建設課
内容	工事契約に関する「金額入り工事設計書」については、現在事業者等から区政情報の開示請求を受けて、全部開示決定し写しの交付により提供している。 区議会や情報開示請求者である事業者等より、情報開示請求をしなくても資料を取得できるよう要望があったことから、下記のとおり公表することとしたので報告する。 1 区政情報開示請求件数の実績 令和5年度 情報開示請求書全 469 件 内 工事設計書に係る請求 243 件（51.8%） 2 情報公表の方針 （1）工事契約について、区が契約依頼のために算定した資料（PDF ファイル）を格納するシステムをクラウド上に構築し、区ホームページからリンクさせる。 （2）令和7年度、区政資料のデジタルアーカイブシステムのサブシステムとして構築し、同時期に運用を開始する。 （3）システム開発・運用・保守は、区政情報課が担当する。 3 導入効果 （1）区政情報開示請求者（事業者等）の利便性向上、負担軽減 （2）区政情報課、工事担当所管（施設営繕部、都市建設部）の事務の減 4 スケジュール（予定） 5月 契約依頼 6月 業者決定 システム仕様および運用検討 システム動作検証、テスト システム操作研修 運用方針決定 事業者等への周知 7年中 運用開始

総務委員会報告資料

令和7年4月14日

件名	あやセンター ぐるぐるの運営状況等について																										
所管部課名	あだち未来創造室 SDGs・協創推進課																										
内容	区がSDGs未来都市として実施しているモデル事業の1つである「あやセンター ぐるぐる」等について、以下のとおり報告する。																										
	1 あやセンター ぐるぐる運営受託事業者評価委員会																										
	本委託は5年債務であり、1年毎に事業評価を実施しており、令和6年度分の評価委員会を2月25日に開催した。																										
	(1) 令和6年度の実績（令和6年4月1日～令和7年2月末）																										
	<table><tr><th>項目</th><th>目標値</th><th>実績</th><th>達成率</th></tr><tr><td>来場者数</td><td>8,400人</td><td>16,376人</td><td>194.9%</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>120件</td><td>196件</td><td>163.3%</td></tr><tr><td>実現件数</td><td>36件</td><td>95件</td><td>264.0%</td></tr><tr><td>イベント 実施回数</td><td>30回</td><td>39回</td><td>130.0%</td></tr><tr><td>イベント 総参加人数</td><td>300人</td><td>894人</td><td>298.0%</td></tr></table>			項目	目標値	実績	達成率	来場者数	8,400人	16,376人	194.9%	相談件数	120件	196件	163.3%	実現件数	36件	95件	264.0%	イベント 実施回数	30回	39回	130.0%	イベント 総参加人数	300人	894人	298.0%
	項目	目標値	実績	達成率																							
	来場者数	8,400人	16,376人	194.9%																							
	相談件数	120件	196件	163.3%																							
	実現件数	36件	95件	264.0%																							
	イベント 実施回数	30回	39回	130.0%																							
イベント 総参加人数	300人	894人	298.0%																								
(2) 令和6年度の子どもたちに向けた取組一例																											
子どもたちがスタッフや利用者たちとの親睦を深め、施設への安心感を高める工夫によって、子どもたちが友達を誘い合いながら勉強や遊びに集うようになった。																											
ア 居場所の充実																											
キッズスペースに、ボードゲーム・ゲーム機・おもちゃ等を用意し、居場所の充実を図った。																											
イ お手伝いをお願い																											
施設に関わりをもってもらえるよう、イベント時の装飾制作や草むしりなど簡単なお手伝いをお願いしている。																											
ウ 子どもが主役のマルシェの開催																											
地域団体とコラボして、子どもたち主催のマルシェを開催した。企画から当日の運営までを子どもたちで行った。企画段階から様々な大人たちと交流する中で、子どもたちの自主性や自己肯定感の向上につながるイベントとなった。																											



(3) 評価委員からいただいた意見

ア 子どもの体験や交流を今後実施していく場合に、その取組のゴールを一体どこにするのか明確にした方がいい。例えば子どもにとって居場所となっていれば目標達成とするのか、それとも子どもが企画のイベントを実施できるようになることをゴールとするのか。そのあたりを具体的に、そのうえで効果がどうだったか評価した方がよい。

イ 「やってみたい」の相談業務対応と、施設自走に向けた運営とのバランスについて、検討していく必要性を感じる。

ウ 前回の評価委員会から1年が経ち、着実に様々な活動が生まれていて、文字通りぐるぐるとした好循環になっていると感じた。

(4) 今後の予定

評価委員からいただいた意見は事業者に伝え、改善・検討を図り、令和7年度の事業計画に反映していく。

2 「ぐるぐる博 in 竹の塚」の開催結果

3月16日(日)、竹ノ塚駅前及びミントポ前で「ぐるぐる博 in 竹の塚」を開催した。

(1) 出店数

16店舗(物販11・体験5)

(2) 来場者数

1,243人

(3) 当日の様子

ア 物販ブースは、完売または想定以上の売れ行きだった。

イ 体験ブースは、一部を除いて用意していた数はなくなった。

ウ 来場者からは、「竹の塚に住んでいながら、知らないお店もたくさんあって、こんな素敵な人やお店があるならもっと町を散策したいと思った」、「駅前でこのようなイベントは初めて。次回もぜひ開催してほしい」との声をいただいた。

(4) 出店者の感想(一部)

ア 初めて参加させていただき、色々な学びがありました。今後に生かしていきたいと思います。

イ 今回は物販でしたが、時期や場所によっては体験での参加も考えてみたいと思います。

ウ とてもいい機会をいただきありがとうございます。また機会がありましたら、ぜひ出店したいです。

エ お天気は残念でしたが、たくさんの方と交流することができ、とても有意義な一日となりました。



3 今後の方針

- (1) 地域と連携しながら、綾瀬と竹の塚における賑わいと新たなコミュニティ作りを着実に推進していく。
- (2) イベントの開催場所や内容によっては、天候により開催時間を変更する可能性がある事を事前にポスターや SNS で周知する。